



THE BODY SHOP

プレスリリース

2021年3月8日
ザボディショップジャパン株式会社

社会変革を牽引するザボディショップが セルフラブ啓発の世界的キャンペーンをスタート

『ほどこう、自分をしばるものを。#YesToSelfLove』
ブランドフィルムを3月8日(月)より公開



1976年にイギリスブライトンで創業した、自然派化粧品ブランドのザボディショップは、世界にポジティブな変化をもたらす活動の一つとして、セルフラブ（自己肯定感）を高める「セルフラブ」キャンペーンを全世界で実施いたします。日本では3月25日(木)より開始いたします。

ザボディショップの創業者アニータ・ロディックは、ビジネスには世界をよくする力があるという理念の元、創業時からセルフエスティームのキャンペーンなどさまざまな社会の問題にスポットを当て問題提起をしてきました。1997年には『世界の30億人のうちスーパーモデルのような外見は8人だけ』というキャッチコピーでセルフエスティームについて世界に発信をしました。しかし、多様な社会へ変化を遂げる今なお、自己肯定感に纏わる問題は根強く残っています。今私たちはありのままの自分を受け入れ、自分自身を愛する行動を起こすことが必要です。

ブランド創立45周年を迎えたザボディショップは、アニータ・ロディックの、世界の不条理にNOと主張し自分の声に従って生きた信条や情熱を描き、現代の日本女性がありのままの自分を大切に、行動を起こすことを目的とするフィルム、「ほどこう。自分をしばるものを。#YesToSelfLove」を発表。社会における固定概念やステレオタイプに縛られることなく、自分自身の声に耳を傾け行動すること、セルフダウト（自己否定）ではなく、セルフラブ（自己肯定）を実践することの大切さを伝えています。

また、フィルムには、セルフラブキャンペーンに参加するkemioさん、長谷川ミラさんも特別出演します。

ザボディショップジャパン株式会社 代表取締役社長 倉田浩美は次のように述べています。
「アクティビストブランドである当社のミッションは、より公正で美しい世界のために立ち向かうことです。世界にポジティブな変化を起こすためには、自らの内面からポジティブな変化をもたらすことから始めなければなりません。特に、セルフダウトや固定概念を助長する社会に対し、セルフラブの行動を起こすことを世界中の人々に呼びかけます。私たちは化粧品業界の枠を超えて、一人ひとりの変化を促進していくこのジャーニーを始めることに心躍らせています。」

「ほどこう、自分をしばるものを。#YesToSelfLove」のフィルムは下記よりご覧いただけます。

[Hub Page Link](#)

『世界の女性の2人に1人がセルフラブよりもセルフダウトを感じている』 The Body Shop Global Self Love Indexを発表

日本ではkemioさん、長谷川ミラさんをキャンペーンに起用

ザボディショップが本日発表したグローバルレポートで、女性の2人に1人がセルフラブ（自己肯定感）よりもセルフダウト（自己否定感）を抱いており、女性の60%が自分自身を「もっと尊重できればいいのに」と思っているという、世界中の女性のセルフラブ・クライシスが明らかになりました。[The Body Shop Global Self Love Index](#)[※]はこの種の消費調査としては初めてのものであり、自尊心の確立のために常に自ら声をあげるというザボディショップの長期的コミットメント策定に向けて調査されたものです。この結果を受け、ザボディショップは英国の活動家で女優のジャミーラ・ジャミルさんとミレニアルセラピストのサラ・クブリックさんのサポートを受け、世界的ムーブメントを始動します。日本ではkemioさん、長谷川ミラさんとともに3月25日(木)より、店頭および公式サイト等でキャンペーンを展開します。

【キャンペーン内容】

このキャンペーンでは、より公正で美しい世界に立ち向かうため、人々の意識を変えていきます。「セルフラブ」には多くの意味がありますが、自分の価値を認め、尊ぶことから始まります。セルフラブにまつわる問題やTIPSなどを公式ホームページや公式アプリなどから発信していきます。

目標

これからの1年間で「世界で100万のセルフラブに対する行動を達成すること」を目指します。行動の大小は重要ではありません。小さなことでも多くの方に行動を起こしていただくことを目指します。

リーディングライツ

セルフラブを理解し、高めていくためのガイドとなるリーディングライツ。グローバルでは、女優でありアクティビストのジャミーラ・ジャミルさんにサポートいただきます。日本は、動画クリエイターとして活躍するkemioさん、社会問題に関して発信を続けている長谷川ミラさんと共にキャンペーンを行います。

【グローバルリーディングライツ】



ジャミーラ・ジャミル (Jameela Jamil)

女優、作家、アクティビストとして活動。
自分自身を愛し、社会の期待に立ち向かう女性を応援しています。ジャミーラさんは、セルフラブの根源は自分自身に もっと親切にすることに由来すると信じています。
「親友を大切にするように自分自身を大切にしましょう。自分自身の親友になりましょう。」これは彼女が会話を通じて奨励していることです。

3月17日(水)20時GMT (日本時間3月18日(木)5時) に公式インスタグラム(@thebodyshop) でジャミーラさんとミレニアルセラピストのサラ・クブリックさんが、彼女たちのセルフラブについてリーディングライツとお客様からいただいた質問にお答えするライブを行います。

【日本のリーディングライツ】



kemio

SNSを駆使し、グローバルを股にかけ活躍する動画クリエイター。
女子中高生はもちろん、近年では大人からの支持も厚く、クリエイターとして大人気に。流行を生み出し続ける世界規模のスターとして、クリエイター、モデル、歌手などとして多岐の分野で活躍中。



長谷川ミラ

モデル。南アフリカ人と日本人の両親を持ち、2017年よりALL GENDER向けの自身のブランド「JAMESIE」を立ち上げ、その後ロンドンに留学。帰国後、雑誌やTV・ラジオ等で活躍する一方、社会問題に関して発信を続けている。

kemioさん、長谷川ミラさんの特別コンテンツは3月25日(木)に公式サイトやブランド公式アプリにて公開予定です。

【SELF LOVE SPECIAL EVENT開催】

3月30日(火)日本のリーディングライツ、kemioさんと長谷川ミラさんのお二人をお招きしてセルフラブについてお話いただきます。
条件3つ (①アプリダウンロード②会員登録③プッシュ通知可) を満たすとYouTubeライブイベントをご視聴いただけます。更に、ご応募いただいた方の中から抽選で20名様をイベントにご招待。(オンラインでの参加となります。) お二人にご質問ができるなど、スペシャルな体験ができます。

【The Body Shop Self Love Index】

セルフラブインデックスの結果は、0から100の評価スコアの中で世界平均が53という非常に低い結果となりました。セルフラブの上位国はデンマーク、オーストラリア、英国で下位国は韓国、サウジアラビア、フランスとなりました。日本は世界平均よりもさらに低い50でした。

本アンケート調査はザボディショップと大手マーケット調査会社Ipsosが設計したもので、2020年11月から12月にかけて、21ヶ国の22,000人以上を対象に実施されました。セルフラブ・インデックスは、自己の価値（self-worth）、ウェルビーイング（wellbeing）、幸福感（happiness）に関する多くの学術的基準で構成されており、年齢、ジェンダー、国、生活水準が、人々の自分自身に対する感じ方にどのような影響を与えているかを明らかにしています。

セルフラブ・インデックスの主な調査結果としては以下が挙げられます。

- 女性が自信を持ってない理由のトップ3は、経済的な状況（32%）、続いて人生の目標を達成していない（25%）、容姿（23%）となっています。
- 比較的若い女性がセルフラブに葛藤を感じていることが分かりました。Z世代のほぼ半数がセルフラブの最下位の分類に属しているのに対し、X世代以上の女性は20%以下です。
- 日本では男性よりも女性のセルフラブ感が低いことがわかりました。（男性が52に対して女性は48）また、独身者のセルフラブ・スコアは平均46で、既婚者の平均52に比べてはるかに低くなります。
- ソーシャルメディアの利用頻度が高い人はセルフラブ指数が低い一方で、必要とする心理的サポートが得られていると回答した人がソーシャルメディア非利用者の2倍います。

新型コロナウイルス感染症が、自身のセルフラブにネガティブな影響を与えたと回答した人は、セルフラブ指数が低い女性が他に比べて6倍多く、金銭的な不安を抱えている女性もネガティブな影響を受けたと回答しています。これはパンデミックが社会的弱者である女性の自尊心を最も傷つけていることを示唆するものです。またレジリエンス（回復力）もセルフラブと関係しており、セルフラブ指数の高い人ほど、困難からの立ち直りが早いと答える傾向にあります。

より詳しい調査結果が必要な方は、ご連絡をお願いします。

このキャンペーンでザボディショップのセルフラブ・エキスパートを務めるサラ・クブリックは次のように語っています。「多くの女性にとって、パンデミックは不快なものとはいえ、自分自身を振り返り、優先順位を見直し、自分らしさについて考える時間を与えてくれました。多くの人が、自分を誇示することや『こうあるべき』というプレッシャーから解放され、ありのままの自分を受け入れつつあります。しかし、感染症拡大以前から自尊心の悩みを抱えていた女性は、孤立と社会的サポートの欠如に直面し、それによって見せかけの自尊心の支えだった外部情報が奪われたことに苦悩しています。だからこそ、今セルフラブを高めることが重要になります。

1年間で100万のセルフラブの行動を普及させること、世界により多くのラブとポジティブな変化を創出することを目指します。

ABOUT THE BODY SHOP INTERNATIONAL



ザボディショップは、デイム・アニー・タ・ロディック（2003年に大英帝国勲章「デイム」を叙勲）が1976年に英国ブライトンで創業した世界的な化粧品ブランドです。BCorp™認証を取得し、エシカルかつサステナブルな方法で製造された高品質でナチュラルなスキンケア、ボディケア、ヘアケア、メイクアップの製品を提供することで、世界にポジティブな変化をもたらすことを目指しています。「企業には世界を良くする力がある」という理念の先駆者であり、この信念は今もブランドの原動力となっています。ザボディショップは世界70カ国以上に約3,000店舗を展開しています。Aesop、Avon、Naturaとともに、経済的、社会的、環境的にポジティブなインパクトを生み出すことに取り組んでいるグローバルでマルチチャネル・マルチブランドのコスメティックグループであるNatura&Coの一員です。

ザボディショップジャパン株式会社

ザボディショップジャパン株式会社（旧・株式会社イオンフォレスト）は、2020年10月1日より英国のThe Body Shop International Limitedの完全子会社になりました。

これに伴い、ブランド名表記は、ザボディショップ（旧・ザ・ボディショップ）となります。

www.thebodyshop.com

ザボディショップ PR

園部 澤田

TEL: 03-3249-7136 FAX: 03-3249-7147

E-MAIL: jp.pr-info@thebodyshop.com

ザボディショップ製品のご掲載クレジット

ザボディショップ

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル

TEL: 03-3249-7131 URL: www.thebodyshop.com